



所在地 〒554-0022 大阪市此花区春日出中 1-13-23  
 電話番号 06-6461-2606  
 校長名 高品 勝年  
 春日出小学校 検索



# 大阪市立 春日出小学校

## 学校概要

春日出小学校は、此花区役所から北港通りを挟んだ南側に位置しています。今年度で創立57年をむかえる本校では、学校教育目標を「人権尊重の精神と態度を養い、実践力のある心豊かな子どもを育てる」として校訓である「つながり もちまえ よろこび」を実感できる教育活動に励んでいます。

今年度も「学力向上」と「生活指導」を両輪に、実践力と豊かな心の育成に努めていきます。昨年度は、さまざまな教科において、対話を通じた協働的な学びを通して、学び合いを高め合う集団の育成を目指して取り組んできました。そこで今年度は算数科の学習に絞って「対話を通じた協働的な学び」の実践に取り組んでいます。

### 標準服



## 運営に関する計画 (中期目標)

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会 (学校園・家庭・地域) の実現】

全市共通目標 (小・中学校)

- ①年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ②平成31(令和元)年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的回答の割合を85%以上にする。
- ③平成31(令和元)年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童の数を前年度より減少させる。
- ④平成31(令和元)年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標 (小・中学校)

- ①小学校経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ②小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- ③小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
- ④小学校学力経年調査における「学校の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤平成31(令和元)年度の全国体力・運動習慣等調査で、本校の課題である「立ち幅跳び」「反復横跳び」において全国平均を上回る。

## 全国学力学習状況調査

※平成30年度の平均正答率

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
男子	65	46	55	42	51
女子	65	46	55	42	51

※調査結果の正答率数値は、学力を測る一つの物差しではありませんが、単年度結果であるこの数字をもって、現在の本校総体としての「学力」を示すものではありませんのでご注意ください。

平均正答率では、すべて全国および大阪市の各平均正答率を下回っているが、平均無答率は全国および大阪市を大きく下回っている。このことから、これまでの取り組みの成果として問題を解こうとする意欲は育ちつつある。活字に対する抵抗がまだ根強く残り、自分の考えや思いを書くだけでなく、漢字や語彙量を増やすために「春日出タイム」といったモジュール学習などを活用しながら基礎・基本の定着を図る取り組みを行っている。

## 全国体力・運動能力 運動習慣調査

※平成30年度の調査結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
男子	16.15 kg	18.3回	33.67 cm	41.76回	47.42回	9.43秒	133.94 cm	21.42 m
女子	16.2 kg	19.3回	42.25 cm	41.95回	44.2回	9.47秒	139 cm	18.3 m

女子は、体力合計点で全国平均を2.4ポイント、大阪市平均を3.85ポイント上回る結果となった。測定種目別に見ると、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げで全国平均、大阪市平均共に上回った。一方で、立ち幅跳びでは全国平均、大阪市平均を下回った。次年度は跳力・走力・持久力を更に伸ばしていくために、体力づくり週間を設けたり、教員の指導力向上を図る研修を設けたりして課題改善に取り組んでいる。

## 学校教育目標

# 人間尊重の精神と態度を養い、 実践力のある心豊かな子どもを育てる

## 子どもが安心して成長できる安全な社会の実現に向けた学校運営をします

いじめの早期発見・解消や未然防止に取り組み、  
人権に対する正しい認識と実行力を育てます。

- ・毎学期のいじめ未然防止アンケートによる調査と組織的対応
- ・学期に1回「いじめについて考える日」を設定し、学校全体で児童の継続指導を進める

インクルーシブ教育システム推進をはかり、  
子ども一人一人のニーズに合った  
合理的配慮の提供を実施します。

- ・体験的な活動を活かした学習
- ・個別支援の充実
- ・指導力向上に向けた教員研修の推進

道徳教育を推進し、  
相手を思いやる気持ちを育みます。

- ・主体的・対話的で深い学びの実践
- ・たてわり班活動による異学年児童による交流の推進

地域と連携して防災・減災教育に取り組み、  
生命を大切にす態度や技術を育成します。

- ・防災チェックシートや防災マップの活用
- ・警察と連携した防犯教室、交通安全教育の実施

P T A・地域の取り組みの企画・運営を支援し、  
豊かな人のつながりのある  
「教育コミュニティ」づくりを推進します。

- ・子ども見守り活動を中心とした取り組み
- ・学校だよりやホームページによる地域への情報発信と学校公開

## 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上を図ります

● 研究主題「対話を通じた協働的な学び」に向けた授業実践を推進し、自ら考えとともに友だちとの意見交流の中からよさを見つけ、表現する力を育成します。

● 効果的なICT機器の活用を図ります。また、英語のモジュール学習も推進します。  
● デジタル教科書(国・算)を活用して、「わかる」「話し合える」授業を展開します。

● 習熟度別少数指導や「春日出タイム」(業間指導)、朝の学習、読書タイム等を活用して、基礎・基本の学力の定着に取り組みます。  
● 体力づくり週間を設定し、体力向上に取り組みます。

● さまざまな諸機関と連携し教員研修を充実させ、子どもそれぞれの課題に応じた支援の工夫やステップなどの指導法を工夫していきます。

